

# 上手な受診の仕方

## 1. お子さんの様子を観察しましょう

- ・お子さんの異常に気づいた時は、様子をよく観察しましょう。医師はお母さんの話を聞いたうえで診察し、いろいろな病気の可能性を考えて必要な検査をします。
- ・「食欲はあるか」「熱はあるか」「機嫌はどうか」「下痢はどうか」、また「いつ頃から症状があるか」「今までかかった病気はあるか」「(他の病院にかかっていたら)薬はどんなものを飲んでいるか」など、要点を簡潔にまとめておくと良いでしょう。

## 2. かかりつけ医（ホームドクター）を持ちましょう

- ・お子さんの様子は成長とともに変化します。それらの変化を把握し、何でも相談出来るかかりつけの医師（ホームドクター）を持ちましょう。
- ・他の診療科や、総合病院での受診が必要であれば、かかりつけ医に紹介してもらえます。まずはかかりつけ医に相談し、医療機関は適切に受診しましょう。

## 3. できるだけ昼間に受診しましょう

- ・診察には、医師だけでなく看護師、検査技師、薬剤師など多くのスタッフが関わっています。昼間の診療時間内には、これらのスタッフが揃っているので、検査、投薬など

もスムーズに受けられます。すぐに救急外来を受診しなくても良い時は、通常の、昼間の診療時間に受診しましょう。

「夜間の方がすいているから」「昼間は仕事があるから」などの理由で、軽い症状でも病院の休日や夜間の救急外来を受診する方が増えています。このため、救急外来が混み合い、本当に重症で救急対応が必要な患者さんの診察が遅れるなど、重大な結果を招きかねません。休日や夜間の救急外来は、本当に必要な時のみ利用するようにしましょう。

また、救急外来では、数日分のくすりを出すことはまずありません。必要であれば、昼間に小児科を受診しましょう。

引用文献：「こどもの急病・事故」

発行 新潟県 監修 新潟県医師会

### 注意

このハンドブックは、お子さんが病気やけがをした時の対応の目安となるものです。「様子をみる」とある症状でも、状態が悪化するようであればすみやかに医療機関を受診してください。

